

教科	国語科	学年	2年	時間数	5 / 週
使用教科書	新しい国語2(東京書籍)				
副教材	新・国語の便覧(正進社) 国語の学習2(明治図書) 学習漢字ノート(浜島書店) 役立つ文法(正進社) 整理と対策(明治図書)  中学書写(教育出版)				
<b>学習の目標</b>					
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。</p> <p>(2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p> <p>書写に関する次の事項を理解し使うこと。</p> <p>(ア) 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。</p> <p>(イ) 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。</p>					
<b>評価基準</b>					
<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>			
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。			
評価の仕方	評価方法・基準 定期テストと、授業や学習課題への取り組みを中心に総合的に評価する。				

教科書	単元	各月における進捗予定											
		1学期				2学期				3学期			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	「未来へ」 谷川俊太郎	●											
	「手紙の効用」 若松英輔	●											
1 言葉を感じる	「短歌を楽しむ／短歌五首」 道浦母都子	●											
	短歌のリズムで表現しよう		●										
	話し言葉と書き言葉		●										
	形の似た漢字		●										
2 感想を深める	「字のない葉書」 向田邦子			●									
	「辞書に描かれたもの」 澤西祐典			●									
	考えを比べながら聞こう			●									
	敬語							●					
3 伝え方を工夫する	「ハトはなぜ首を振って歩くのか」 藤田祐樹							●					
	郷土のよさを伝えよう				●								
	用言の活用		●										
	漢字の意味				●								
	「卒業ホームラン」 重松清							●					
4 説得力を高める	「黄金の扇風機」 田中真知							●					
	「サハラ砂漠の茶会」 千住博							●					
	根拠を吟味して書こう							●					
	説得力のある提案をしよう							●					
	助詞							●					
	同訓異字								●				
	「落葉松」 北原白秋									●			
5 伝統文化を味わう	枕草子		●										
	徒然草			●									
	平家物語							●					
	漢詩								●				
	依頼状やお礼状を書こう									●			
	助動詞									●			
	他教科で学ぶ漢字(2)										●		
6 描写を味わう	「走れメロス」 太宰治									●			
	人物を描写しよう									●			
	類義語・対義語										●		
	「鯉節——世界に誇る伝統食」 小泉武夫												●
7 効果的に表現する	「『正しい』言葉は信じられるか」 香西秀信											●	
	話し合いで問題を検討しよう											●	
	いきいきと描き出そう												●
	同音異義語											●	
	「わたしが一番きれいだったとき」 茨木のり子									●			
	「坊っちゃん」 夏目漱石											●	
ラー 行書で書く	1 点画の省略							●					
	2 筆順の変化							●					
	3 学習を生かして書く —行書の特徴—								●				
書二 こう 行書と仮名を調和させて	1 行書と仮名の調和								●				
	2 行書に調和する仮名								●				
	3 文字の大きさと配列									●			
	4 書く速さを意識して書く									●			
	5 学習を生かして書く									●			
う 生 か し て 書 く こ に お い し い	1 ささまざまな書く場面										●		
	2 学習を生かして書く										●		